

AOC-6000 制御ソフトウェア バージョンアップ手順書

1 はじめに

本バージョンアップを実行することにより、以下のアップデートをすることができます。

対象ソフトウェア	アップデート内容
(GCMSsolution 用) AOC-6000 制御ソフトウェア	Ver.1 以降から最新の Ver.2.1 へアップデート可能
(LabSolutions 用) AOC-6000 サポートキット	Ver.1.00 以降から最新の Ver.2.10 へアップデート可能

AOC-6000/AOC-6000 Plus をご使用中のお客様は下記の手順でアップデートしてください。

本バージョンアップ作業では、GCMSsolution、LabSolutions、および本体のファームウェアをアップデートする必要はありません。

また、AOC-5000/AOC-5000 Plus をご使用のお客様は、本バージョンアップ作業は不要です。

*本ご案内及びワークステーションソフトに関するお問い合わせは、以下の窓口で承っております。
島津コールセンター（フリーダイヤル 0120-131-691、左記で繋がらないとき: 075-813-1691）

2 ソフトウェアインストール状況のご確認

ソフトウェアのインストール状況によって、行っていただく作業が異なります。以下の手順でインストール状況をご確認いただき、参照先の手順を実施いただきますようお願いいたします。

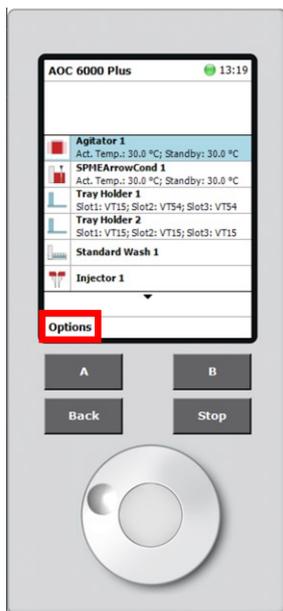
- 1) [スタート] メニューから [Windows システム ツール] - [コントロール パネル] をクリックします。
(Windows 7 の場合、[スタート] メニューから [コントロール パネル] をクリックします。)
- 2) [コントロール パネル] 画面が開きます。
- 3) [プログラムと機能] をクリックします。
- 4) プログラムの一覧に [AOC-5000/6000 Control Software] が表示されているかを確認してください。確認後、以下の表に記載した参照先の手順でアップデートしてください。

AOC-5000/6000 Control Software	アップデート対象ソフトウェア	アップデート手順
一覧にない	AOC-6000 制御ソフトウェア	「4 (GCMSsolution 用) AOC-6000 制御ソフトウェアのアップデート方法」 の手順でアップデートしてください。
一覧にある	AOC-6000 サポートキット	「5 (LabSolutions 用) AOC-6000 サポートキットのアップデート方法」 の手順でアップデートしてください。

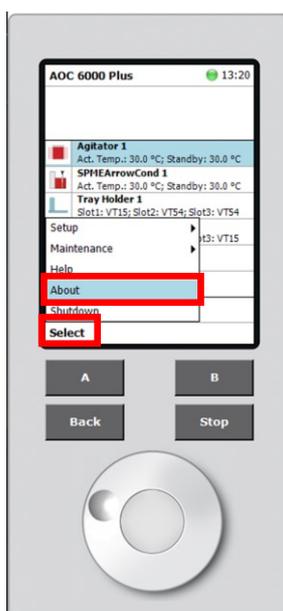
また、AOC-6000 シリーズ本体のファームウェアのバージョンによって、インストールに使用するファイルが異なります。以下の手順でファームウェアのバージョンをご確認ください。

- 1) AOC-6000 シリーズ本体のハンディターミナル (PAL ターミナル) のメイン画面から [Options] を選択します。
- 2) [About] にカーソルを合わせ、[Select] を選択します。
- 3) [Product Version] の項目の数字を確認します。この数字が AOC-6000 シリーズのファームウェアのバージョンを表します。

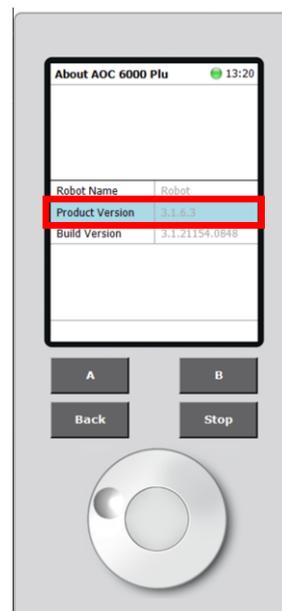
手順 1)



手順 2)



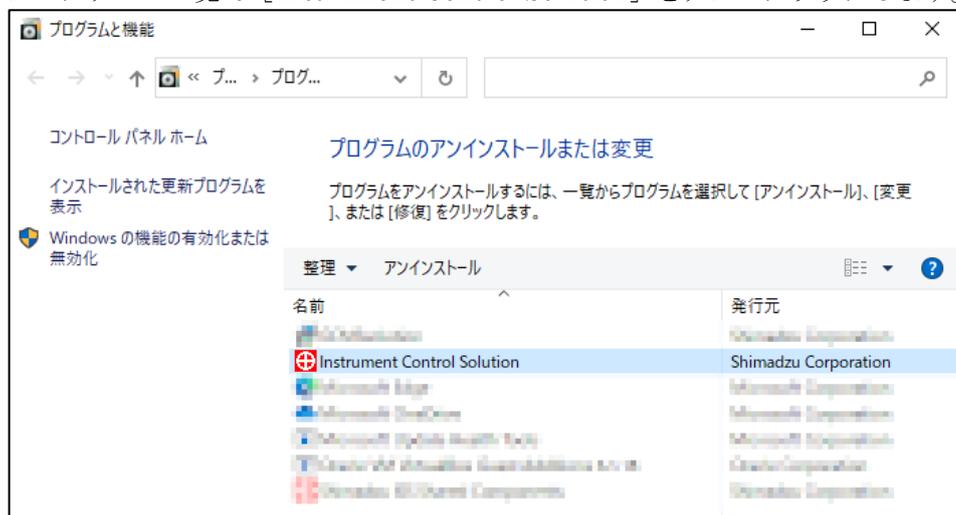
手順 3)



4 (GCMSsolution 用) AOC-6000 制御ソフトウェアのアップデート方法

4-1 アンインストール

- 1) GCMS 分析など、Windows 上で起動しているすべてのプログラムを終了します。
- 2) AOC-6000 制御ソフトウェアをアンインストールするときは、必ず 2 つのプログラムをアンインストールしてください。
- 3) [スタート] メニューから [Windows システム ツール] - [コントロール パネル] をクリックします。
(Windows 7 の場合、[スタート] メニューから [コントロール パネル] をクリックします。)
- 4) [コントロール パネル] 画面が開きます。
- 5) [プログラムと機能] をクリックします。
- 6) プログラムの一覧で [Instrument Control Solution] をダブルクリックします。



- 7) アンインストール (削除) の確認のメッセージが開きます。[はい] をクリックすると、Instrument Control Solution のプログラムファイルがアンインストール (削除) されます。



- 8) プログラムの一覧で [Shimadzu ISS Shared Components] をダブルクリックします。



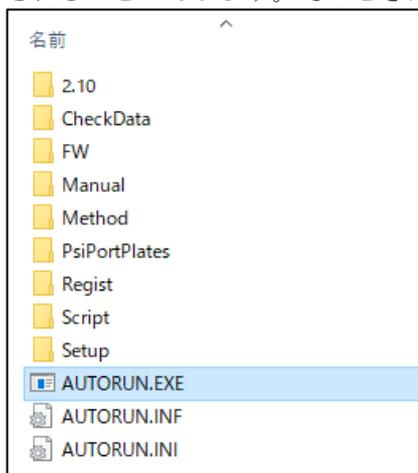
- 9) アンインストール（削除）の確認のメッセージが開きます。[はい] をクリックすると、Shimadzu ISS Shared Components のプログラムファイルがアンインストール（削除）されます。



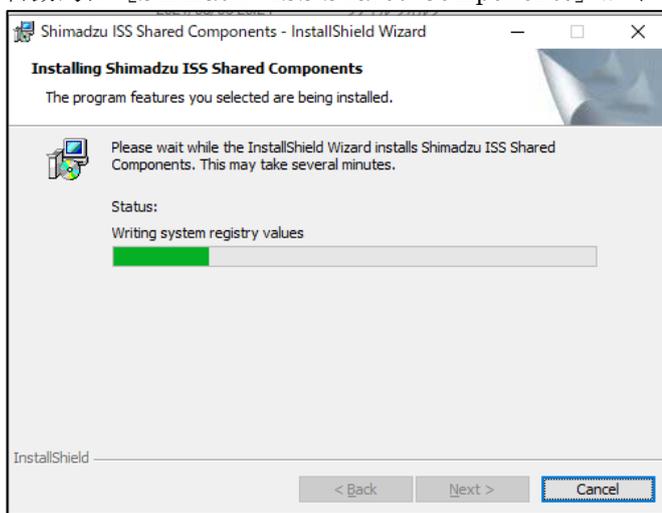
- 10) アンインストールが終了したら、Windows を再起動します。

4-2 インストール

- 1) ダウンロードしたアップデートプログラムの **Autorun.exe** を実行します。
 [次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか] というメッセージが表示されることがあります。そのときは [はい] をクリックしてください。



自動的に [Shimadzu ISS Shared Components] がインストールされます。

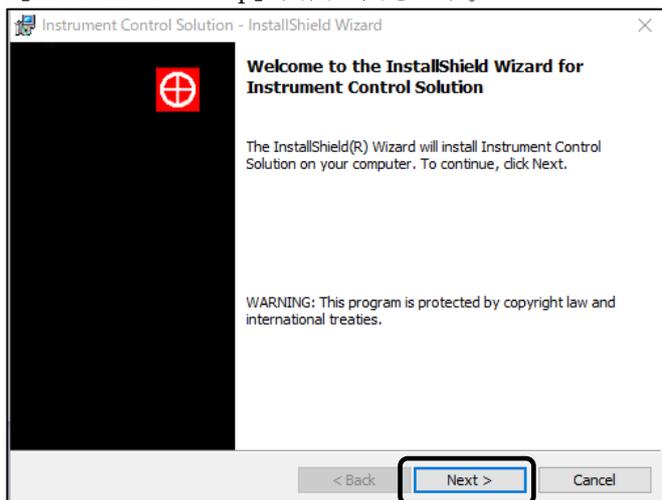


注記

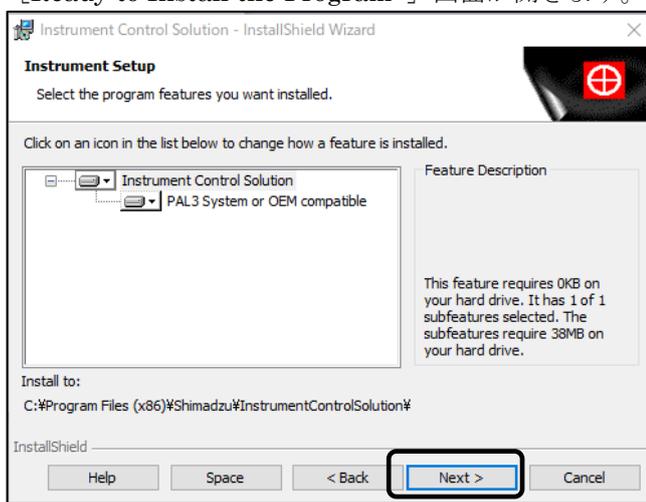
[Shimadzu ISS Shared Components] のインストールにはしばらく時間がかかります。インストール中に [Cancel] ボタンをクリックしないでください。

しばらくすると、[Welcome to the InstallShield Wizard for Instrument Control Solution] 画面に戻ります。

- 2) [Next >] をクリックします。
[Instrument Setup] 画面が開きます。



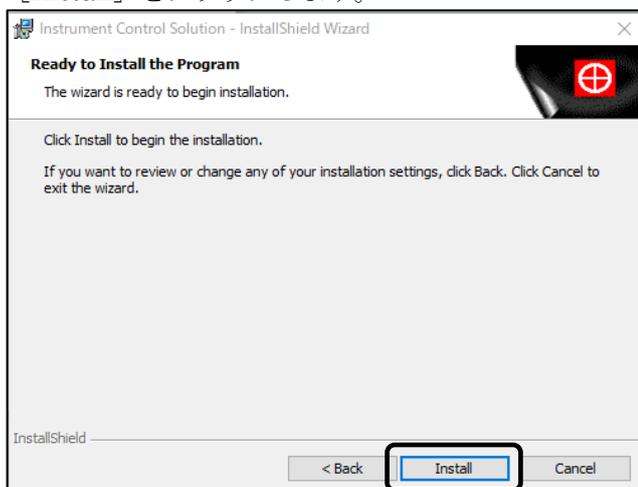
- 3) [Next >] をクリックします。
[Ready to Install the Program] 画面が開きます。



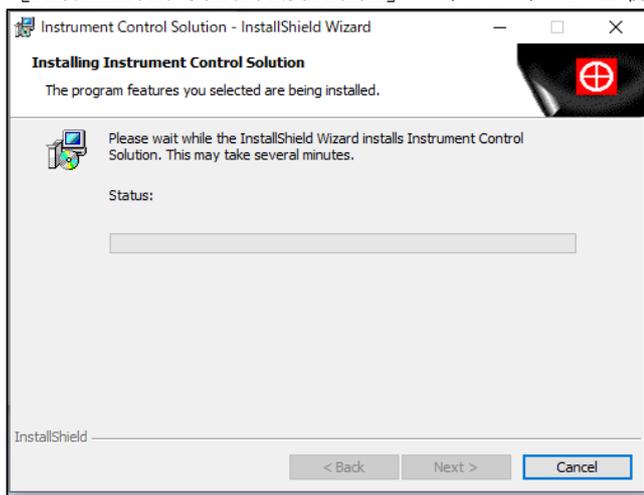
注記

この画面では設定を変更しないでください。

- 4) [Install] をクリックします。

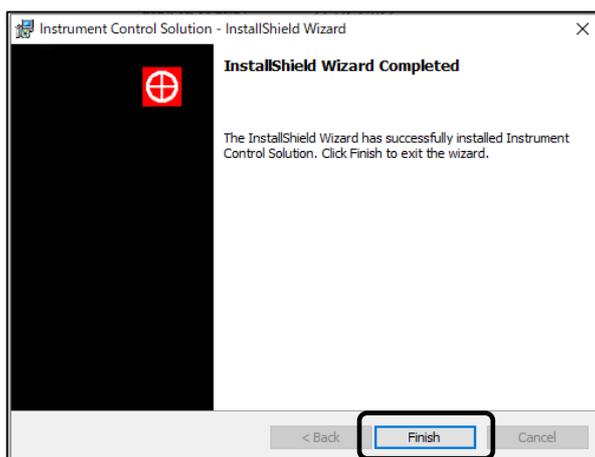


- 5) [Instrument Control Solution] のインストールが開始されます。



[Instrument Control Solution] のインストールにはしばらく時間がかかります。
インストールが完了したら [InstallShield Wizard Completed] 画面が開きます。

- 6) [Finish] をクリックします。



- 7) インストールディスクの取扱説明書ファイルを以下のようにコピーしてください。
- ・コピー元： (インストールディスク) ¥Manual¥JPN
 - ・コピー先： C:¥GCMSsolution¥Manual

4-3 アップデート作業後の確認

[コントロール パネル] の「プログラムと機能」を表示して、Instrument Control Solution のバージョンが以下の通りであることを確認してください。

AOC-6000 シリーズ本体 ファームウェアのバージョン	Instrument Control Solution のバージョン
3.1.6.3 / 3.1.6.2 / 2.3.7 の場合	3.2.4.0
2.2.8 / 2.1.3 の場合	3.2.3.1

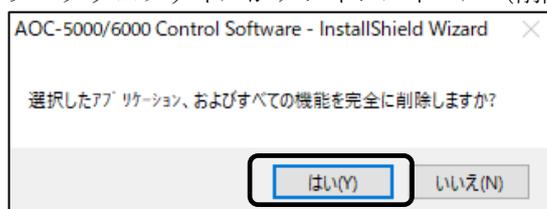
5 (LabSolutions 用) AOC-6000 サポートキットのアップデート方法

5-1 アンインストール

- 1) LabSolutions 分析など、Windows 上で起動しているすべてのプログラムを終了します。
- 2) [スタート] メニューから [Windows システム ツール]- [コントロール パネル] をクリックします。
(Windows 7 の場合、[スタート]メニューから[コントロール パネル]をクリックします。)
- 3) [コントロール パネル] 画面が開きます。
- 4) [プログラムと機能] をクリックします。
- 5) プログラムの一覧で [AOC-5000/6000 Control Software] をダブルクリックします。
[このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?] 画面が表示された場合は [はい] をクリックしてください。



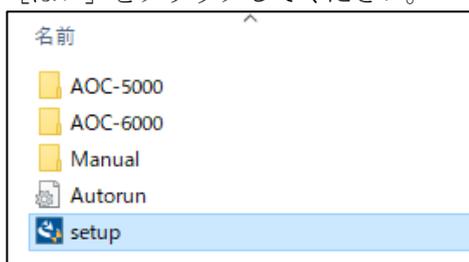
- 6) アンインストール (削除) の確認のメッセージが開きます。[はい] をクリックすると、プログラムファイルがアンインストール (削除) されます。



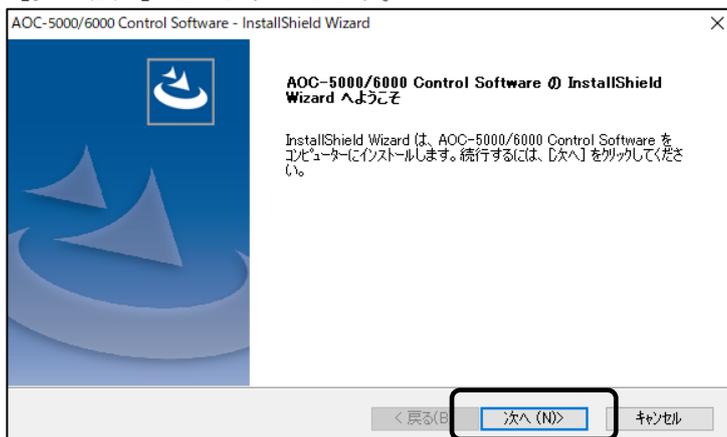
- 7) アンインストールが終了したら、Windows を再起動します。

5-2 インストール

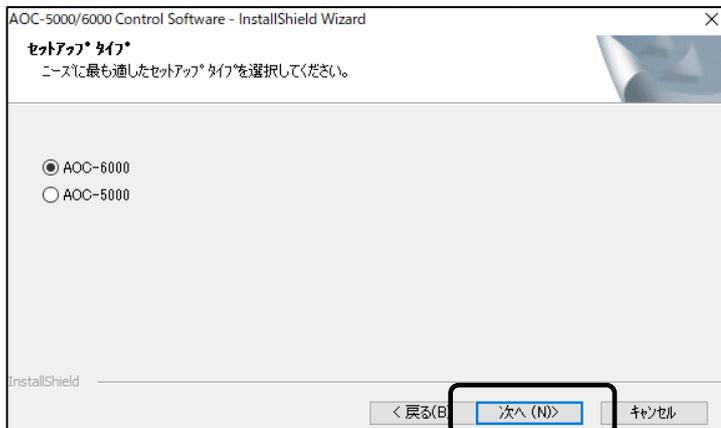
- 1) ダウンロードしたアップデートプログラムの、**setup.exe** を実行します。
 [このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?] 画面が表示された場合は
 [はい] をクリックしてください。



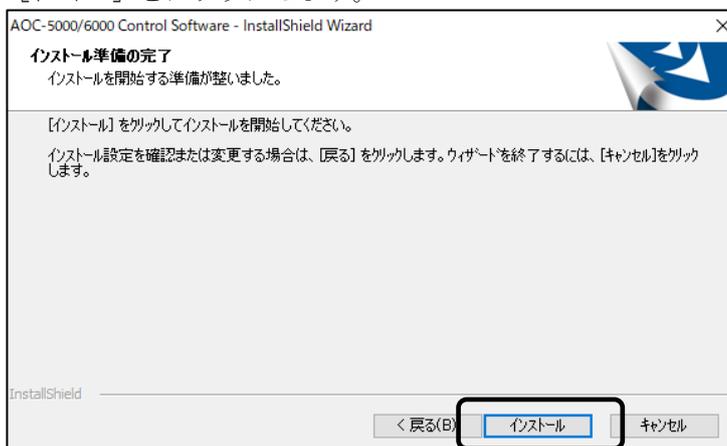
- 2) [次へ(N)>] をクリックします。



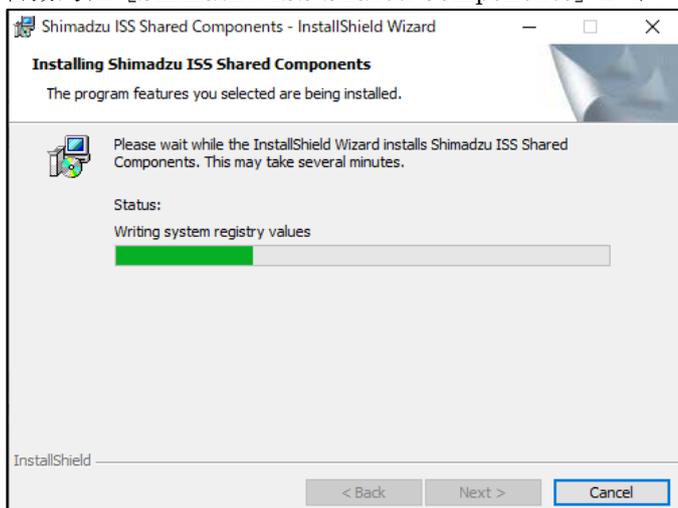
- 3) [AOC-6000] を選択してから [次へ(N)>] をクリックします。



- 4) [インストール] をクリックします。



- 5) 自動的に [Shimadzu ISS Shared Components] がインストールされます。

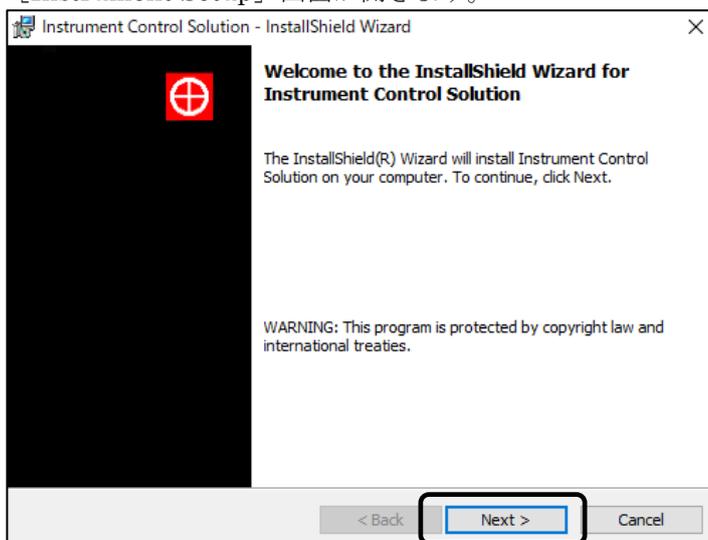


注記

[Shimadzu ISS Shared Components] のインストールにはしばらく時間がかかります。インストール中に [Cancel] ボタンをクリックしないでください。

しばらくすると、[Welcome to the InstallShield Wizard for Instrument Control Solution] 画面に戻ります。

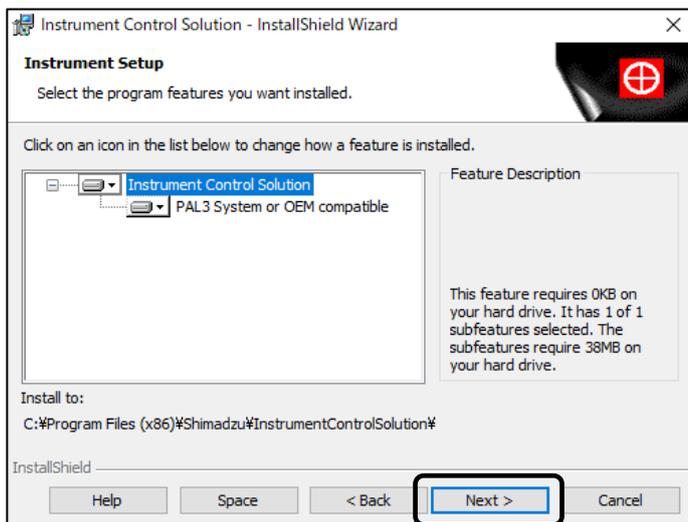
- 6) [Next >] をクリックします。
[Instrument Setup] 画面が開きます。



- 7) [Next >] をクリックします。
[Desktop Shortcuts] 画面が開きます。

注記

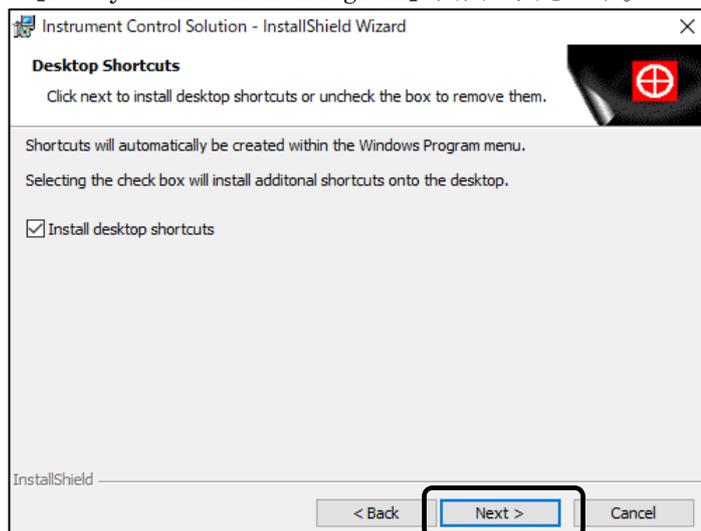
AOC-6000 シリーズ本体のファームウェアが 3.1.6.3 / 3.1.6.2 / 2.3.7 の場合に使用する AOC-6000 サポートキット Ver.2.10 では、[Desktop Shortcuts] 画面は開きません。手順 9)に進んでください。



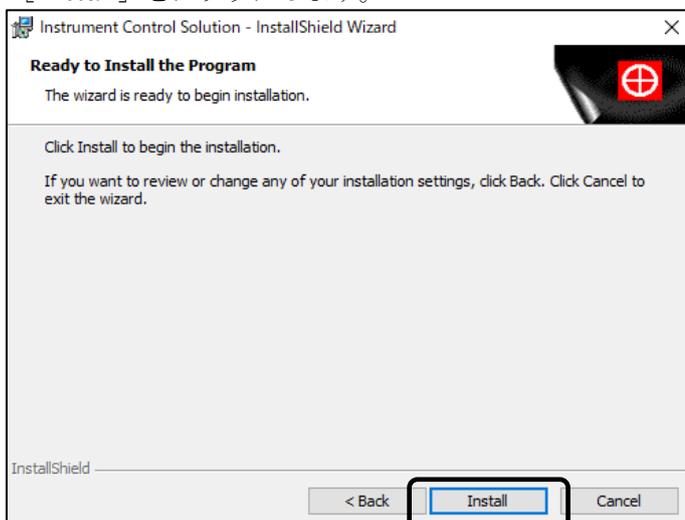
注記

この画面では設定を変更しないでください。

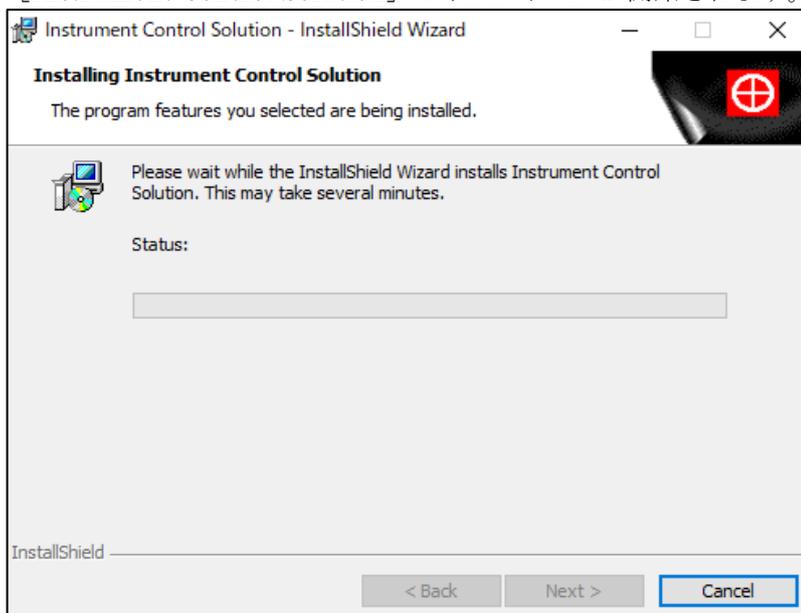
- 8) [Next >] をクリックします。
[Ready to Install the Program] 画面が開きます。



- 9) [Install] をクリックします。



[Instrument Control Solution] のインストールが開始されます。

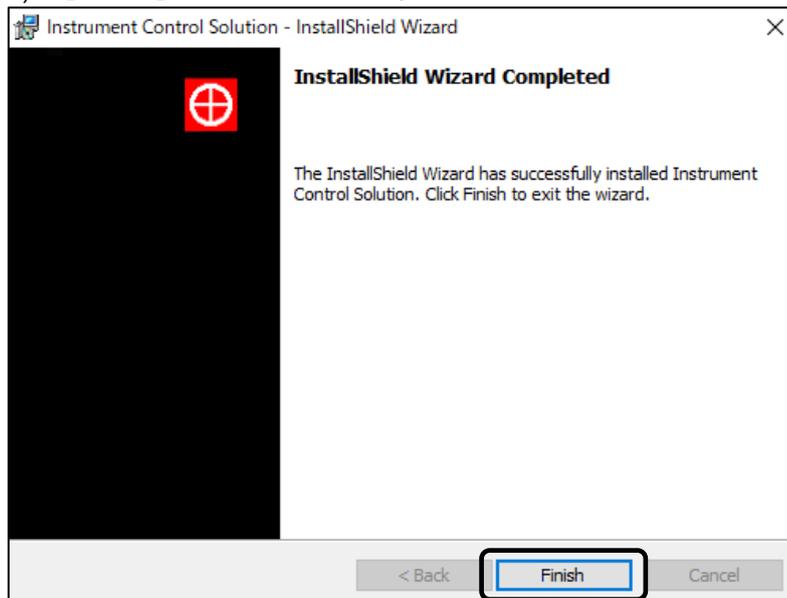


注記

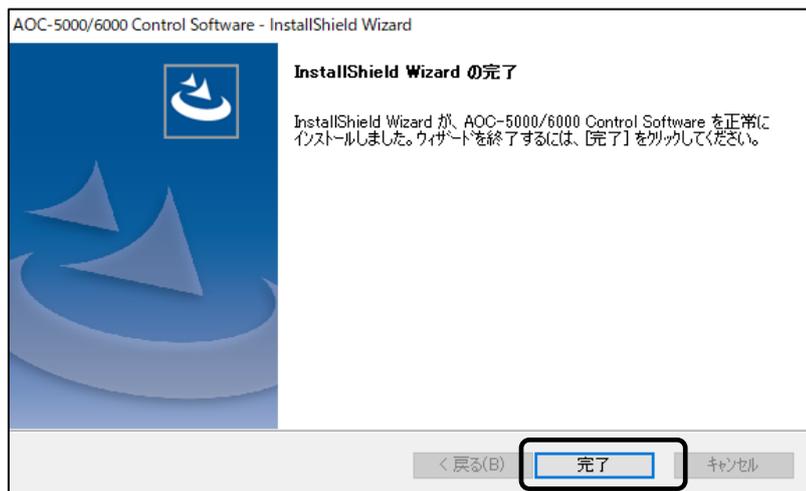
[Instrument Control Solution] のインストールにはしばらく時間がかかります。

インストールが完了したら [InstallShield Wizard Completed] 画面が開きます。

10) [Finish] をクリックします。



11) [完了] をクリックします。



12) GCMSsolution をご使用のお客様は、インストールディスクの取扱説明書ファイルを以下のようにコピーしてください。

- ・コピー元： (インストールディスク) ¥AOC-6000¥Manual¥JPN
- ・コピー先： C:¥GCMSsolution¥Manual

5-3 アップデート作業後の確認

[コントロール パネル] の「プログラムと機能」を表示して、ソフトウェアのバージョンが以下の通りであることを確認してください。

AOC-6000 シリーズ本体のファームウェアが 3.1.6.3 / 3.1.6.2 / 2.3.7 の場合

ソフトウェア名	バージョン
AOC-5000/6000 Control Software	2.10
Instrument Control Solution	3.2.4.0

AOC-6000 シリーズ本体のファームウェアが 2.2.8 / 2.1.3 の場合

ソフトウェア名	バージョン
AOC-5000/6000 Control Software	2.10
Instrument Control Solution	3.2.3.1

6 AOC-6000 制御ソフトウェア 改良・修正された内容

AOC-6000 制御ソフトウェア Ver. 2.1 では、Ver. 2.0 から以下の項目が改良・修正されています。

分類	内容
改良	ヘッドスペース法、SPME 法、SPME Arrow 法、ITEX DHS 法でアジテータでのバイアルの加温温度(Incubation Temperature)の設定上限を 80℃に変更しました。従来の設定上限である 200℃のメソッドは、高沸点溶媒用としてメソッド名を「For High Boiling Solvent」に変更しました。
改良	ヘッドスペース法でシリンジの温度(Syringe Temperature)の設定上限と初期値を 100℃に変更しました。 また、ITEX DHS 法でシリンジの温度(Syringe Temperature)の設定上限を 110℃に変更しました。
不具合修正	AOC-6000 Plus で検量点試料の自動調整メソッド(Standard Dilution for Calibration)が動かない不具合を修正しました。

AOC-6000 制御ソフトウェア Ver. 2.0 では、Ver. 1.3 から以下の項目が改良・修正されています。

分類	内容
改良	AOC-6000 Plus の制御に対応しました。
改良	液体注入法、ヘッドスペース法、SPME Arrow 法のデフォルト値を一部変更しました。
不具合修正	SPME 法で、Arrow Conditioning Module の温度制御ができない不具合を修正しました。

AOC-6000 制御ソフトウェア Ver. 1.3 では、Ver. 1.2 から以下の項目が改良・修正されています。

分類	内容
改良	SPME Arrow 法及び ITEX DHS 法に対応しました。
改良	ヘッドスペース法でバイアル保温時にアジテータを攪拌するかどうかを選択できるようにしました。
不具合修正	誤ったパラメータの設定範囲を修正しました。

AOC-6000 制御ソフトウェア Ver. 1.2 では、Ver. 1.1 から以下の項目が改良・修正されています。

分類	内容
不具合修正	操作手順によってはダウンロードしたパラメータを装置の動作に反映できない不具合を修正しました。

AOC-6000 制御ソフトウェア Ver. 1.1 では、Ver. 1.0 から以下の項目が改良・修正されています。

分類	内容
改良	GL Sciences B.V.社製 多機能注入口「OPTIC-4」の自動ライナー交換オプション「LINEX-2」に対応しました。

7 AOC-6000 サポートキット 追加機能・修正内容

AOC-6000 サポートキット Ver. 2.10 では、Ver. 2.00 から以下の項目が改良・修正されています。

分類	内容
改良	ヘッドスペース法、SPME 法、SPME Arrow 法、ITEX DHS 法でアジテータでのバイアルの加温温度(Incubation Temperature)の設定上限を 80℃に変更しました。従来の設定上限である 200℃のメソッドは、高沸点溶媒用としてメソッド名を「For High Boiling Solvent」に変更しました。
改良	ヘッドスペース法でシリンジの温度(Syringe Temperature)の設定上限と初期値を 100℃に変更しました。 また、ITEX DHS 法でシリンジの温度(Syringe Temperature)の設定上限を 110℃に変更しました。
改良	GC 装置だけでなく、GCMS 装置でも AOC-6000 および AOC-6000 Plus の制御に対応しました。
不具合修正	以下のバージョンの LabSolutions をインストールした後、AOC-6000 サポートキットをインストールできない不具合を修正しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ LabSolutions LC/GC Ver.5.103 以降 ・ LabSolutions DB Ver.6.103 以降 ・ LabSolutions CS Ver.6.102 以降
不具合修正	Windows 10 において .Net Framework 3.5 が無効であるとき、AOC-5000 を使用した分析を開始できない不具合を修正しました。
不具合修正	AOC-6000 Plus で検量点試料の自動調整メソッド(Standard Dilution for Calibration)が動かない不具合を修正しました。

AOC-6000 サポートキット Ver. 2.00 では、Ver. 1.10 から以下の項目が改良・修正されています。

分類	内容
改良	AOC-6000 Plus の制御に対応しました。
改良	液体注入法、ヘッドスペース法、SPME Arrow 法のデフォルト値を一部変更しました。
改良	ヘッドスペース法でバイアル保温時にアジテータを攪拌するかどうかを選択できるようにしました。
不具合修正	SPME 法で、Arrow Conditioning Module の温度制御ができない不具合を修正しました。
不具合修正	誤ったパラメータの設定範囲を修正しました。

AOC-6000 サポートキット Ver. 1.10 では、Ver. 1.00 から以下の項目が改良・修正されています。

分類	内容
不具合修正	操作手順によってはダウンロードしたパラメータを装置の動作に反映できない不具合を修正しました。